

技術者一覧（道路）

頁	発注事務所名	部門	分野	工事・業務名	受注業者名	技術者氏名
256	紀勢国道事務所	道路	土木	令和2年度 4 2号紀勢国道管内舗装修繕工事	株式会社 NIPPO	金山 泰輔
	紀勢国道事務所	道路	土木	令和2年度 4 2号紀勢国道管内舗装修繕工事	株式会社 NIPPO	花見 隼輔
257	紀勢国道事務所	道路	土木	令和2年度 4 2号松阪多気BP朝田高架橋下部(P17)工事	株式会社 谷口建設	酒匂 一希
258	紀勢国道事務所	道路	土木	令和2年度 4 2号井戸東地区道路建設工事	(株) 塩谷組	谷口 真実
259	紀勢国道事務所	道路	土木	令和2年度 4 2号尾鷲管内道路維持修繕工事	(株) 東組	池端 伊之輔
260	紀勢国道事務所	道路	土木	令和2年度 4 2号熊野管内道路維持修繕工事	ユウテック 株式会社	榊原 爽
261	紀勢国道事務所	道路	土木	令和2年度 熊野道路久生屋有馬地区橋梁詳細業務	協和設計株式会社	馬場 恵

【土木】令和2年度 42号紀勢国道管内舗装修繕工事



発注者:紀勢国道事務所 受注者:株式会社 NIPPO 中部支店



左:花見 準輔(現場代理人)
2019年入社 23歳
右:金山 泰輔(監理技術者)
2014年入社 30歳

入社後は、主に国交省・NEXCOの舗装修繕工事、新設工事に従事してきました。今回の現場で初めて国交省工事の現場代理人と監理技術者を担当します。平均年齢26歳の若手2人で日々頑張っています。



NIPPOマスコットキャラクター
ミッチーくん



<工事(業務)の目的及び概要>

本工事は、国道42号線および紀勢道の老朽化したアスファルト舗装の修繕を行い、一般車両が快適かつ安全に走行できるようにすることが目的です。



路面切削状況



アスファルト混合物
敷均し状況

・現場での私たちの役割

現場では、安全管理、写真撮影等が主な業務になります。また現道規制工事であるので、適当な規制設置、交通誘導員配置を指示します。時間に追われる業務のため、日々の段取り漏れが無いよう入念に材料、機械の準備をします。

・建設業を選んだ理由

地図に残る仕事がしてみたい！というのが理由です。実際にそのような業務に携わることができ、地図に載っているところを見ると感慨深くなります。

・未来をつくる若手技術者の皆様へ

この仕事は、生活における社会基盤を支える仕事です。とてもやりがいがあり、形に残るものを作ることができます。日々、出来上がっていく現場の風景は見ていて楽しいです。若手技術者で未来を作っていきましょう。

【土木】令和2年 42号松阪多気BP朝田高架橋下部(P17)工事

発注者：中部地方整備局 紀勢国道事務所

受注者：株式会社谷口建設



酒匂 一希
2014年入社

入社後は市町村・県・国などが発注する数々の現場に携わってきました。今年の4月から朝田高架橋下部(P17)工事の現場代理人として活躍中です！

＜工事（業務）の目的及び概要＞

この工事は国道42号松阪多気バイパスの一部となる橋梁の下部工を施工する工事です。下部工に伴う道路の切回しも行っています。



協議会で安全活動について堂々と発表しています！



ICT技術を用いた測量(自動追尾トータルステーションを使いこなしています！)

・私のワークスタイル

現場では、測量や写真管理、安全管理を任されています。私は仕事を進めていく中で、人間関係が一番大切だと感じており、現場で関わる人達とは積極的にコミュニケーションを取るよう意識しています。また、プライベートも大切にしたいので、メリハリをつけて仕事をするようにしています。

・建設業を選んだ理由

最初は特に理由も無く入社しましたが、仕事をしていくうちに人間関係、責任感を持つことの大切さなど、自分を成長させてくれる仕事だと感じるようになりました。たくさんの人達と一つの現場をやり遂げていく、やりがいもあり自分にぴったりな仕事です。今では建設業を選んで良かったと思っています。

・未来をつくる若手技術者の皆様へ

最初は覚えることが多く、責任も重く大変ですが、慣れると自分のスタイルで仕事を進めることができ、やりがいのある仕事だと思います。また、自分のやる気次第で早く一人前になれると思いますので、たくさんの若い人達が建設業にチャレンジしてほしいです。

【土木】令和2年度 42号井戸東地区道路建設工事

発注者：紀勢国道事務所 受注者：株式会社 塩谷組



谷口 真実
(たにくち・まみ)
2021年入社



<工事(業務)の目的及び概要>

現在、三重県熊野市において事業推進中の国道42号熊野道路の側道橋架設及び井戸川高架橋下部(A2橋台)を構築する工事で、施工延長約300mの道路改良工事です。

昨年の2月に途中入社後、年度末完成現場に配属従事した後に2021年6月から井戸東地区道路建設工事に携わっています。全くの素人から、建設業に携わる事となり、初めてのことだらけですが、頑張っています。



側道橋：桁組立・架設、床版打設状況

・現場での私の役割

現場では、日常安全管理書類の整理や 現場点検業務、現場環境改善の為、現場事務所の緑化及び快適化に携わっています。

また、近接工事現場の皆さんに了解を得て、各現場での作業見学をさせて頂いています。



・建設業を選んだ理由

求人です務経理関係職を希望し入社しましたが、現場業務に関して少し興味が有り、会社と相談の上、土木工事現場配属となりました。



品質管理・測量観測補佐・日常点検業務

・未来をつくる若手技術者の皆様へ

この仕事は、「野外での作業も多く、きつくて大変」といったイメージを受けるかも知れませんが、現在配属されている現場事務所でもあるように、女性専用の快適トイレの設置等、衛生面に配慮された”働きやすい環境整備”が整いつつあると思います。

当社でも女性技術者が活躍されている現場も有り、やりがいのある仕事だと思います。

【土木】令和2年度 42号尾鷲管内道路維持修繕工事

発注者：紀勢国道事務所 受注者：(株)東組



池端 位之輔
2021年入社

国道42号と紀勢線において道路維持管理の仕事をしています。事故処理・落下物処理等の緊急作業、大雨時の通行規制作業等24時間365日体制で業務を行っています。



道路補修作業の様子



除草作業の様子

・現場での私の役割

道路異常の補修や、落下物回収、通行の妨げになる草木等の除草を行い、道路利用者が安全に道路を利用できるよう、監理技術者、現場代理人と現場に同行し道路維持作業を行っています。

・建設業を選んだ理由

地域に貢献できる建設業に興味を持ち、この職業を選びました。

・未来をつくる若手技術者の皆様へ

いつも当たり前利用している道路を、快適に利用して頂く為に昼夜を問わず道路維持作業を行うこともあり大変な面はありますが、私が携わっている維持作業を行うことで道路利用者の皆様が安全・快適に道路を利用して頂くことができるとてもやりがいのある仕事だと思います。

【土木】 令和2年度 42号熊野管内道路維持修繕工事

発注者:紀勢国道事務所 受注者:ユウテック 株式会社



榊原 爽 2021年入社

地元の高校を卒業後、2021年4月から維持工事に携わっています。



台風による越波後の道路清掃状況



【工事の目的及び概要】

道路の機能を保持するために行う道路の維持管理であって、一般に日常計画的に反復して行う手入れ、また交通事故等で損傷した部分の復旧作業を行う。

・現場での私の役割

右も左も分からない私に、作業で使う道具の名前から始まり始業前点検をはじめ安全作業の手順を分かり易く一から指導してもらって、最近ようやく朝礼時や翌日の作業打合せ時の諸先輩方の会話内容が理解できるようになり、グループでの当日の作業がスムーズに進むように自分なりに出来る事を見つけて少しでも信頼されるよう努力しています。

・建設業を選んだ理由

道路の工事現場で、既存の路面を大きな機械で削りそのあと大型ダンプからアスファルトを受取り削った路面に薄く敷均し、また別の大きな鉄輪と沢山のタイヤが付いた機械で何度も踏み固めると新しい道路が出来たのを見近で見ていて衝撃を受け、すごいなと思い建設業に就き地元へ貢献できればと思い建設業を選びました。

・未来をつくる若手技術者の皆様へ

実績や経験が無くとも、入社後当社のように「道路維持管理のキャリアプラン(道路標識・道路維持管理)」に沿ってキャリアを積みむと、道路維持の監理技術者になる道が開ける会社が沢山あると思いますのでそういったキャリアアップの仕組みのある会社を選んで是非チャレンジして頂きたいと思います。

【土木】令和2年度 熊野道路久生屋有馬地区 橋梁詳細設計業務



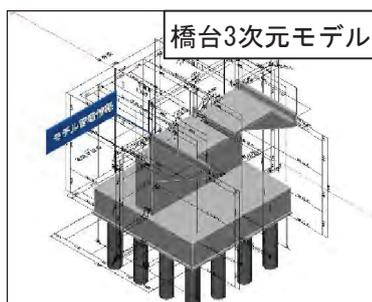
発注者: 紀勢国道事務所 受注者: 協和設計株式会社



馬場 恵
2014年入社

入社後5年間は近畿地方整備局を中心とした橋梁設計業務に従事し、異動をきっかけに今は中部地方整備局の業務に携わっています。

2021年9月から約1年間、「令和2年度 熊野道路久生屋有馬地区橋梁詳細設計業務」を担当しました。



橋梁設計後

<業務の目的及び概要>

国道42号熊野道路に計画された久生屋高架橋(L=178.0m)と産田川橋(L=46.0m)の橋梁詳細設計業務です。詳細設計業務とは工事発注に必要な設計計算書、図面、数量などを作成することです。

・現場での私の役割

担当技術者として現場調査・条件整理・橋梁計画・設計・図面数量まで全ての工程に携わりました。

上司や発注者の方と打合せを繰り返し、架橋地の条件などを踏まえた橋梁計画を進めました。

・建設業を選んだ理由

小学校のころから設計に興味を持っていました。大学では建築を学べる学校に入ったつもりが土木だったというミスがきっかけでしたが、自分で考え設計した構造物ができる喜びやスケールの大きい仕事に携われるというやりがいなど今は建設コンサルタントに進んでよかったと思っています。

・未来をつくる若手技術者の皆様へ

構造力学や土質、河川など様々な知識、能力が必要になる難しい仕事ではありますが、多くの人に相談しながら解決策を導き出す達成感のある仕事です。

土木というスケールの大きな仕事に発注者、コンサル、ゼネコンなどいろいろな立場からかかわることで唯一の社会資本を作り、長期間にわたり多くの人に利用され社会貢献ができる業界だと思っています。